

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

1-ヘプタノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

A 0 0 0 4 7 2 - 2 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1-ヘプタノール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値)：  
対照区，助剤対照区，5.00，11.0，22.0，47.0，100 mg/L  
公比：約 2.1  
助剤濃度一定：100 mg/L (HCO-40使用)
- 6) 試験液量： 100 mL/容器
- 7) 連数： 4 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： ガスクロマトグラフィー (GC)

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が全て±20%以内であったため、結果の算出には設定値を用いた。

### 2) 24時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 65.2 mg/L (95%信頼区間 : 47.0~100 mg/L)  
最大無作用濃度 (NOECi) : 22.0 mg/L  
100%阻害最低濃度 : 100 mg/L

### 3) 48時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 55.5 mg/L (95%信頼区間 : 46.3~68.4 mg/L)  
最大無作用濃度 (NOECi) : 11.0 mg/L  
100%阻害最低濃度 : 100 mg/L